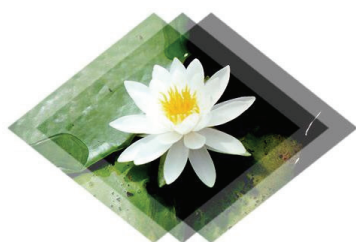


故・川上明君追悼集



目次

川上明君の生い立ち			1 頁
川上明君の遺稿			2 頁
川上君のこと—思い出すままに—	金沢犀川ワイズメンズクラブ	三谷信三	3 頁
川上さんを偲んで—良き相談相手—	元・金沢犀川ワイズメンズクラブ	吉本健一郎	4 頁
川上明メンの思い出—ゴルフコンペの成功—	金沢ワイズメンズクラブ	澁谷洋太郎	5 頁
追悼 川上事務長	くらし眼科医院	塚本さゆき	6 頁
川上さんとの思い出—会計とカラオケ—	金沢犀川ワイズメンズクラブ	川村孝治	7 頁
川上君との出会い—ボランティアの心—	金沢犀川ワイズメンズクラブ	北 肇夫	8 頁
川上さんの逝去を惜しむ	金沢犀川ワイズメンズクラブ	作田健意	9 頁
川上明君との思い出—硬軟両面の持ち主—	金沢犀川ワイズメンズクラブ	高木啓一	10 頁
川上さんを偲ぶ—アルバムを介して—	金沢犀川ワイズメンズクラブ	平口哲夫	11 頁



2009. 8

金沢犀川ワイズメンズクラブ

川上明君の生い立ちと Y'S 歴



(2005年10月16日 EMC・バーベキュー例会 “医王の里”にて)

生い立ち

1932年5月16日	金沢市早道町85に生まれる。
1945年3月	金沢市新塀町(国民学校)小学校卒業
1945年4月	石川県立第一中学校併設中学校(三年)卒業
1948年4月	石川県立金沢泉丘高等学校入学
1951年3月	同上卒業
1951年4月	株式会社北陸銀行勤務
1989年2月1日	北興建設勤務
1996年9月30日	同上退社
1997年4月1日	くらし眼科医院勤務
2008年7月1日	逝去(享年76歳)

Y'S 歴

1993	金沢犀川チャーターメンバー	2002-2003	直前会長、交流事業
1996-1997	クラブ会計	2003-2004	クラブ書記、広報
1997-1998	クラブ書記、CS・TOF	2004-2005	中部会計、クラブ書記、広報
1998-1999	クラブ副会長、EMC	2005-2006	クラブ会長
1999-2000	クラブ会長、CS・TOF	2006-2007	直前会長、広報
2000-2001	クラブ会長、CS・TOF	2007-2008	広報
2001-2002	直前会長、交流事業		

川上明君の遺稿

ブリテン 2002 年 3 月号 「新春特別例会に参加して」

2月23日(土)～24日(日)の2日間にわたり、2002年の新春特別例会が能登中島の万葉倶楽部で開催された。春近しを思わせる好天に恵まれ、新入会員2名に、ゲスト2名を加えて、さらにメネット、コメット各1名を合わせ総勢11名の久しぶりに賑やかな楽しい集いとなった。

次期クラブ役員の選出もすんなり決まり、瀧平新会員の入会式も厳粛なうちに進められた。いよいよ待望の食事会となり、作田君の乾杯の発声で開宴となった。メニューは、七尾湾で採れたての冬の味覚の王様“牡蠣のフルコース”とあって、皆「1年分の牡蠣を堪能した」と満足気であった。アルコールも充分に行き渡り、食後は部屋に戻って二次会となり、「クラブ10周年記念事業をどうするか」各自の胸の内を語り合う。事業を成功させるためにも、メンバーを早急に2桁に乗せたいとの共通の思いを確認した。

ブリテン 2002 年 7 月号 「この一年間の想いと次期に向けて」

2001年7月、会長を北君にバトンタッチし、ホッと一息ついたと思ったのに、はや1年を経過し、時の経つ日の早さにただ驚くばかりの今日この頃です。

私が会長在任中、会員増強を唱え続けてきましたが、実現できず心苦しい交替でした。会員の皆様のご努力下、やっと2名の新会員を迎え、躍進の足がかりを作ることができたと喜んでいきます。さらに新年度早々にも新会員を迎えることができそうで、今期こそ2桁台乗せを実現したいと努力しています。

北会長も意欲満々で、クラブを積極的に引張ってくれているので、我々も頑張り甲斐があるというものです。折しも、当クラブは創立10周年を目前にしており、ぜひ、会員15名の目標を達成しましょう。

最後に、新年度最初の入会予定者のプロフィールを紹介します。

吉本健一郎君：昭和11年2月1日生、北陸銀行OB。銀行現役時代から手品の達人として知られ、各地の支店から招かれてその腕前を披露し、お得意さまに喜ばれています。最近、奥様と共にグランドゴルフに熱中、好成績を挙げています。

*注：原文に若干修正を加えてあります。



(2006年2月7日 第3回金沢わいわい寄席 懇親会)

川上君のこと一思い出すままに一

金沢犀川ワイズメンズクラブ 三谷 信三

60年近い交わりを回顧すると、多くのことが胸に迫ってきて筆が進まないのも、脈絡なく、思い出すまま書く事をお許し願いたい。

川上君とは1950年金沢泉丘高校2年、さらに3年と同じクラスで、クラブ活動も地歴部に所属していた。戦時中で小、中、高等学校在学中、修学旅行がなかったため彼と相談し、部の費用で奈良へ研修旅行を行なったところ、後輩たちからも喜ばれ、今でも同窓会として集まっている。高校卒業と同時に、川上君は北陸銀行に、私は安田火災に就職したことから、同じ金融界の友人としてもお付き合いしてきた。

川上君は1993年金沢犀川ワイズメンズクラブの設立に際し、一番に参加してくれたチャーターメンバーである。中部書記一期、クラブ会長三期、副会長二期、書記二期、会計三期を誠実に、正しく実行され、クラブにはなくてはならぬ人だった。

第三の職場は医院であり、その事務長を務められた。毎週ゴルフを楽しみ、夜はスナックへ。カラオケは、高校時代歌など聞いたことがなかったが、石原裕次郎の歌を持ち歌とし、メンバーと飲みに行ってもその歌った曲名を手帳に記載し、次の時に歌わせるなど、几帳面な男であった。

一昨年9月の検査の結果即入院となる。私は入院中の川上君の見舞いがてら、例会の前に意見を聞きに、例会後は報告に行った。

川上君は西日本区大会、中部部会や他クラブとの交流に進んで参加した。彼が一度クラブを辞めたいと言った時がある。西日本区の定款改正案が決定し、クラブ会則変更の際、「メンバーはYMCAの会員になるものとする」という文言で彼と何度も議論をしたが、国際ガイドライン303の「YMCAの会員となることが望まれる」を見つけて示したところ納得してくれた。こういう一面もある人だった。

このようにクラブにとって大切な人を失ったことは、金沢犀川クラブのみならずワイズダムにとっても大きな損失である。彼の意志を引き継ぎ二桁のメンバーになるよう更に頑張りたい。



(2006年6月8日 直前会長バッジの引継ぎ)



(2006年6月22日 6月第二例会 ワシントンホテル)

川上さんを偲んで—良き相談相手—

元・金沢犀川ワイズメンズクラブ 吉本 健一郎

早いもので、川上さんとお別れして 1 年になります。初めてお目にかかったのは昭和 29 年（1954）の春、私が銀行に就職したときでしたから、55 年前のことですね。一緒に勤務したことはありませんでしたが、いつも最寄の支店に勤務しておりましたし、文化祭や運動会・ソフトボール大会・組合の会合などで時々顔をあわす機会がありました。泉丘高校での先輩後輩といったことやお互い金沢人といったことなどがあいまって何かしら自然と相通じるところがあったのでしょう。ご指導ご鞭撻を賜っておりました。奥様も同じ銀行にお勤めでしたので、ご夫婦共々親しくさせていただきました。

川上さんは人をひきつけるような魅力をお持ちになり、包容力に優れ、いつもだれかれとなく優しくお付き合いをしてくださる方でした。何にも増してとても気配りのお持ちの方でした。また、いろいろな相談事にもいやな顔ひとつせず親身になって相談に乗ってくださいました。

先輩はゴルフやカラオケがお好きであり、またお上手でもありましたが、いずれも私には苦手といいますか不得手な類でしたので、あまりそのほうではお付き合いが薄かったようで、今更ながらご指導を賜っておけばよかったと悔やんでおります。また、川上さんの特徴はなんといっても、ものすごく濃いあの眉毛と彫りの深い顔立ちであり、私は眉が薄いので特にこの点は羨望の極みでした。



（2002 年 7 月 25 日 吉本入会式後の懇親会）

私が銀行を定年退職して、弱電関係の会社に再就職したときもいろいろ仕事の上で大変お世話になりました。OB 有志が集まる 18 会（毎月 18 日に飲む会）に推薦して下さったのも、またワイズに推薦して下さったのも川上さんでした。平成 8 年会社を退職し家内の実家の家業（酒小売店）を引き継いだときもお取引先をご紹介くださったり、ご自分の分をご注文して下さったりしていただきました。その後、富樫グランドゴルフにも入会を勧められ、老後のスポーツとしてこれは現在も続けております。私が主催している納税協力会にも快くご入会くださり、数年前急性胆のう炎摘出の手術を受けたときも何回もお見舞いをいただき、大変心強く勇気づけられました。さらに目の具合が悪くなったときも、倉知先生に相談をしていただくなど、公私共にお世話になりました。

そんな先輩が思いもよらず急に入院なさったとお聞きしたときは、恩返しをするならこのときと何回もお見舞いに伺いましたが、いたって元気な話しぶりで、しばらくすればまた元気に飲める日が来ると楽しみにしておられたので、訃報のお知らせをいただきましたときはわが耳を疑いました。

生あるものは必ず死ありで、川上さんがお亡くなりになられた翌々日には T 氏（美川会）が逝去され、今年の 1 月には高村清隆氏（親分）そして先月 Y 氏（美川会）が亡くなりました。健康であることの大切さを身にしみて感じる今日この頃です。天国でもゴルフにカラオケ三昧で楽しくお過ごしなされ、安らかにお休みください。いつの日にかおそばに参りますのでその節は宜しくお願い申し上げます。

合掌

川上明メンとの思い出ーゴルフコンペの成功ー

金沢ワイズメンズクラブ 澁谷 洋太郎

川上 明メンは眉に特徴のある好い男でバンカー（銀行マン）がピッタシのワイズメンでした。犀川クラブへ入会された時の第一印象がそうでした。おつき合いはそんなに密ではなかったのですが、ゴルフを愛されて、会えば楽しそうに話されるので一度ご一緒しようと約束していたのに、実現することができずに残念です。

ゴルフといえば、第7回西日本区大会を、金沢クラブ・金沢犀川クラブ・京都パレスクラブがホストクラブとなり、加賀市文化会館・ホテル百万石を会場にして開催した際に、片山津ゴルフ場で大会ゴルフコンペをいたしました。ゴルフをわかっている人は川上さんだけで、川上さんとスクラムを組んでのコンペとなりました。まず、どんな要領で行うのかを見るため、前年の第6回大会でのゴルフコンペ（彦根ゴルフクラブ）に参加して要領を盗み本大会に備えました。

片山津ゴルフ場でのコンペは幸いにも5組20名の参加があり、特に東日本区の東京クラブ・東京グリーンクラブの皆さんが賑やかに馳せ参じてくれました。問題は参加賞を何にするかで色々二人で考えて、北陸の特長をアピールして「コシヒカリ 5kg」にしました。これは優勝賞品より豪華で大変な好評を呼びました。前夜祭の表彰式で川上さんと、よかった、よかったと杯を重ねました。川上さんのゴルフ歴が好結果を生んだのです。

入退院を繰り返しながら闘病生活をされましたが、最後までワイズメンズクラブのメンバーとして頑張られた川上さんを手本に、残された我々は元気だった頃の川上さんを思い起こしながらワイズダムを楽しみたいと思います。



(2003年10月11日 バーベキュー例会 医王の里オートキャンプ場)

追悼 川上事務長

くらち眼科医院 塚本 さゆき

平成9年に“くらち眼科医院”の事務長としていらした時には、少々怖い方かなという第一印象を持ったことを覚えています。しかし、実際は、川上事務長はいつも冷静でやさしく、温かく私たちに接して下さいました。

夏に内灘海岸でバーベキューをした時には、息子さんご家族にもご参加いただきました。慰安旅行でディズニーシーへ行きました時には、大きなカメラを持ってこられ、沢山の写真を撮って下さいました。宿泊先までの移動も事務長の誘導のお陰で大変スムーズにいました。年中行事となっておりますお花見や忘年会などの宴会の席でもいつも和やかに楽しくおしゃべりしたものです。

院内では階段を二段とびで駆け上がって行かれる姿が今でも目に浮かびます。とにかく、いつも若々しくお元気でしたので、白血病の治療のためにしばらくの間入院するからとお聞きした時には職員一同、本当に驚きました。入院中もとても気丈で、亡くなられる直前まで書類に目を通され、医院や武蔵コンタクトレンズの事を最後の最後まで気にされておられました。あの責任感の強さには頭の下がる思いでした。

本当にお世話になりました。心から感謝しております。亡くなられてはや一年が過ぎましたが川上事務長のご冥福をあらためてお祈り申し上げます。長い間、ほんとうにありがとうございました。



(1999年和倉温泉多田屋にて 左から川上明事務長、武蔵コンタクトレンズ山本元店長、塚本さゆき受付主任)

川上さんとの思い出—会計とカラオケ—

金沢犀川ワイズメンズクラブ 川村 孝治

川上さんとの一番の思い出は、私が中部部長を引き受けた時に中部の会計をしていただいたことです。長年、北陸銀行にお勤めになり、その後いろいろ友人の会社に経理関係で就職なさいましたが、たしかな経理や真面目な人柄で多くの人に喜ばれていたようです。

中部の会計をされた時も、会計についてはもちろん、ほかにもいろいろアドバイスをいただきました。今思うと、部長の仕事をやれたのは川上さんのおかげだと、大変感謝しています。



(第8回中部部会 2004年9月12日 ウェルシティー金沢)

香林坊、片町と、よくお酒を飲み歩きました。カラオケで川上さんは裕次郎の歌が得意でしたが、アイ・ジョージの「ジョニーの子守歌」も必ず歌っていた記憶があります。また、メンバーが歌った歌を黒皮の手帳にメモしておいて、次の機会には勝手に歌の予約をするなど気を使っていました。

そんな川上さんが亡くなったので、大変寂しい気持ちが今も心の隅に残っています。



(2005年4月29日 金沢犀川クラブ4月第一例会 金沢YMCA集会室)

川上明君との出会いーボランティアの心ー

金沢犀川ワイズメンズクラブ 北 肇夫

金沢犀川ワイズメンズクラブ設立の折（1993年6月12日）、友人の勧めもあり、①健全な社交クラブを目指し、②異業種交流の場として、また③自己研鑽の場として、④金沢YMCAとともに青少年の健全育成に貢献できるボランティアのクラブとの思い込みで、当クラブに入会しました。

設立時の当クラブのメンバーは、様々な業種の人びとの集まりで自営業の方々、教員、銀行員・損保・エンジニアなどのサラリーマンの方々というように多彩な顔ぶれでした。その中のお一人である川上 明さんとの交流が始まりました。

川上さんは、当クラブの7代、8代、13代の会長職をはじめ副会長、書記、会計、各種事業委員長のほか、22代川村孝治・中部部長（2004年7月～2005年6月）のときのキャビネットの一員として会計の要職を担われました。その間、それぞれの役割を遂行される姿勢は「クラブ員の鑑」であり、かつ、取り組みは常に真摯なものでした。

思い出のひとつに、2005年4月17日（日）京都YMCAリトリートセンター（京都府宇治市）で開催された『京都部・中部部・びわこ部 合同Y・Yフォーラムと夜桜フェスタ』に当クラブから川村孝治（部長）・三谷信三（事務局長）・川上明（部会計）・北 肇夫（部書記）の4名が参加したときのことが印象強く残っています。



（Y・Yフォーラムと夜桜フェスタ 2005）

Y・Yフォーラム開催の趣旨は、ワイズメンズクラブとYMCAの協働理解と交流のためのものでした。固苦しい企画ではなく、在京の方々による焼き鳥やビールなどの模擬店があったり、バンド演奏、フォトコンテストや夜桜をライトアップするための仕掛け、キャンプファイヤーの設営があったりの大掛かりなもので、大勢の人達で大変な賑わいでした。その折、キャンプファイヤーを囲んで当クラブは、青少年の健全な育成のために、金沢YMCAにどのようなサポートができるか等々、真面目に議論をしたことが思い出されます。



（2005年4月24日 新桜坂緑地）

また、2006年6月4日、当クラブ恒例行事「クリーンキャンペーン」として、新桜坂緑地(W坂)や犀川緑地の地域奉仕事業に取り組みました。この事業は、10数年前、川上さんが7代会長のとき初めて実施したと記憶しています。現在も継続しており、通勤・通学の人たちや住人から感謝されています。

このような活動を通して、川上さんから奉仕の喜びを学び、よきアドバイスをいただきました。川上さんに感謝し、衷心よりご冥福をお祈りいたします。

川上さんの逝去を惜しむ

金沢犀川ワイズメンズクラブ 作田 健意



あの頑丈な体の川上さんがこんなに早くこの世を去るとは夢にも思いませんでした。

一見取っ付きにくいお顔ですが、太い眉に大きな目、温厚な赤みがかったお顔を忘れません。それでいて、芯の通った性格は威厳があり、物に動じないところのあるお方でした。一方、お酒が入れば愉快地にカラオケをソフトな声で唄われる、楽しいお方でした。

もつともつとお付き合いできたら良かったのに、残念でなりません。

(2006年6月22日 6月第二例会の二次会にて)



(2005年10月16日 EMC・親睦バーベキュー例会 “医王の里”)

川上明君との思い出—硬軟両面の持ち主—

金沢犀川ワイズメンズクラブ 高木 啓一

私と川上さんとの出会いは約 19 年前に遡り、金沢犀川 Y's Men's Club のチャーターを目指しその準備会を立ち上げた頃に、次期会長予定の三谷さんより高校時代の同級生で北陸銀行を退職された方との紹介で知り合いました。

彫りの深い顔立ちと立派な眉に元銀行の支店長経験者とのことですので、ちょっと気難しい方かなというのが初対面での印象でした。しかし親しくお付き合いさせていただくと、その印象とは大いに違っており、株の売買をこなし、週 2 回はゴルフを楽しみ、準備会の後は片町のスナックで石原裕次郎のカラオケを大いに唄い、さらにはポケットにある黒色の手帳にメンバーのお気に入りカラオケのレパートリーをビッシリとメモをするといった、硬軟両面を持ち合わせる繊細な方で、他には変えがたい貴重な人でした。



(2003 年 5 月 24 日 クラブ創立 10 周年記念集会后に)

天国でゆっくりと好きな事を思う存分なさってください。心よりご冥福を祈ります。



(2006 年 6 月 8 日 6 月第一例会の二次会 “笑宿” にて)

川上明さんを偲ぶ—アルバムを介して—

金沢犀川ワイズメンズクラブ 平口 哲夫

川上明さんに初めてお会いしたのは、2004年11月25日金沢国際ホテルで開催された金沢犀川クラブ11月例会に招かれて卓話をさせていただいたときです。それがきっかけで翌月に入会したのですから、川上さんとお付き合いは4年に満たない短いものでした。でもなぜか川上さんとは旧知の仲だったような気がするの、私をクラブに誘った三谷信三さんの旧友だったからかもしれません。お二人とも私より一回りほど年上の先輩ですから、どうも「君」呼ばわりするのは気が引けますので「さん」付けにさせていただきます。

金沢犀川クラブのホームページは私が入会したころにはすでに試行が始まっていたのですが、その担当者が間もなく退会されたということもあって、私が代わりにHPを管理することになり、写真をHPのアルバムに掲載するというのも2005年4月から開始しました。そこで、このアルバムに掲載されている写真を介して川上さんを偲ぶことにいたします。

実はアルバム1(2005年4月)の写真は私が撮った写真ではありません。これに掲載されている行事に、私は参加していなかったからです。この中で一番見ごたえのあるのは、新桜坂緑地(W坂)「水辺の詩」像の前で「YMCAと共にワイズメンズクラブ」の幟を3本立て、お揃いのジャンパーを着たメンバー6人が並んで立っている写真です。川上さんは右端に写っています(8頁参照)。

次に川上さんが登場するのは、会長をなさっていた時期のアルバム3(2005年10月)に掲載されたEMC・親睦バーベキュー例会の写真です(9頁参照)。アルバムには掲載していませんが、このとき参加者一人ひとりを撮った写真があり、HPの「メンバー紹介」や第12回西日本区大会のメモリアルアワーに用いた、川上さんの写真もそのうちの1枚です(1頁参照)。

アルバム4(2006年2月)の第3回金沢わいわい寄席(2頁参照)、アルバム5(2006年3・4月)の3月第一例会(梅染信夫氏卓話「讚美歌物語」)・第二例会(金沢ワシントンホテル)に続くアルバム6(2006年6・7月)の第9回西日本区大会(名古屋、私は欠席)写真にはバーナーを持ったお元気な姿が見られ、また7月第一例会の二次会(会場「笑宿」、10頁参照)における集合写真には思い出深いものがあります。そしてアルバム7(2006年



(2006年 9月18日 第10回中部部会 四日市シティホテル)

9月)掲載の9月第一例会(田口昭典氏卓話「キリスト教と腹話術」とアルバム8(2006年9月)掲載の第10回中部部会に参加されたあと、川上さんは長期の入院生活を余儀なくされました。

以上のように、川上さんがアルバムに登場するのは2005年4月から2006年9月までの1年半にすぎませんが、そのひとコマひとコマに川上さんがワイズメンズクラブで働きをなさった、篤実なお人柄が偲べれます。



故・川上 明 君 追悼集

発行日：2009年8月27日
編集・発行：金沢犀川ワイズメンズクラブ
〒921-8164 金沢市久安1-303 三谷信三方
TEL:076-247-3588 FAX:076-247-3580
<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/index.html>
